

平成二十五年 四月 作品

母の待つ 信濃へ桜 追ふごとく (一江)

菜の花に あふれる光 巾着田 (隆治)

卒業の 証受ける子 凜として (正雄)

逝く春や 赤一点の トラクター (前歩)

(タイ 北部にて)

追われ来し 民族の村 陽炎へり (奉男)

千年の 昔も今も 花の宴 (由美)

散る桜 真鯉の口に 入りけり (隆行)

子らの声 はずむ公園 日永かな (太郎)

やふやくに 梅開くなり 朝の庭 (平六)